

【請求項 1】

受信した印刷ジョブの印刷が終了した後においても、補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持しておくか否かを、個々の印刷ジョブによらずに包括的に設定する設定部であって、この包括的な設定をネットワークを介してクライアントから設定可能な設定部と、

受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを判断する、判断部と、

前記判断部で印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていると判断した場合には、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっているても、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持せず、

前記判断部で印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていないと判断した場合で、且つ、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合には、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する、

選択保持部と、

を備えることを特徴とするプリンタ。

【請求項 2】

受信した印刷ジョブを、一時的に、前記補助記憶装置に印刷ジョブデータとして格納する、格納部と、

印刷の際に前記補助記憶装置から印刷ジョブデータを読み出す、読み出し部と、
前記読み出し部で読み出した印刷ジョブデータに基づいて、印刷を実行する、実行部と、

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。

【請求項 3】

前記選択保持部は、

印刷の終了した後に前記補助記憶装置に印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する場合には、印刷前に前記補助記憶装置に格納されていた印刷ジョブデータのステータスを、印刷後の保持状態のデータであることを示すステータスに変更し、

印刷の終了した印刷ジョブを前記補助記憶装置に保持しない場合には、前記補助記憶装置に格納されているその印刷ジョブデータを削除する、

ことを特徴とする請求項 2 に記載のプリンタ。

【請求項 4】

前記補助記憶装置は、当該プリンタに内蔵されたハードディスクにより構成されている、ことを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。

【請求項 5】

前記判断部は、受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを、その印刷ジョブが親展印刷であるか否かで判断する、ことを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。

【請求項 6】

前記判断部は、受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを、その印刷ジョブを印刷する際にユーザが少なくともパスワードを入力してから印刷を開始する設定になっているか否かで判断する、ことを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。

【請求項 7】

前記印刷ジョブの秘密性の設定は、印刷ジョブ単位で設定される、ことを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。

【請求項 8】

前記印刷ジョブの秘密性の設定は、当該プリンタとクライアントとの間に確立される接続単位で設定される、ことを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。

【請求項 9】

受信した印刷ジョブの印刷が終了した後においても、補助記憶装置にその印刷

ジョブを印刷ジョブデータとして保持しておくか否かを、個々の印刷ジョブによらずに包括的に設定する設定部に対して、この包括的な設定をネットワークを介してクライアントから設定し、

受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを判断し、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていると判断した場合には、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持せず、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていないと判断した場合で、且つ、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合には、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する、

ステップを備えることを特徴とするプリンタの制御方法。

【請求項 10】

受信した印刷ジョブを、一時的に、前記補助記憶装置に印刷ジョブデータとして格納し、

印刷の際に前記補助記憶装置から印刷ジョブデータを読み出し、

前記読み出し部で読み出した印刷ジョブデータに基づいて、印刷を実行する、

ステップをさらに備えることを特徴とする請求項 9 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 11】

印刷の終了した後に前記補助記憶装置に印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する場合には、印刷前に前記補助記憶装置に格納されていた印刷ジョブデータのステータスを、印刷後の保持状態のデータであることを示すステータスに変更し、

印刷の終了した印刷ジョブを前記補助記憶装置に保持しない場合には、前記補

助記憶装置に格納されているその印刷ジョブデータを削除する、

ことを特徴とする請求項 10 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 12】

前記補助記憶装置は、当該プリンタに内蔵されたハードディスクにより構成されている、ことを特徴とする請求項 9 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 13】

前記判断ステップでは、受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを、その印刷ジョブが親展印刷であるか否かで判断する、ことを特徴とする請求項 9 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 14】

前記判断ステップは、受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを、その印刷ジョブを印刷する際にユーザが少なくともパスワードを入力してから印刷を開始する設定になっているか否かで判断する、ことを特徴とする請求項 9 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 15】

前記印刷ジョブの秘密性の設定は、印刷ジョブ単位で設定される、ことを特徴とする請求項 9 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 16】

前記印刷ジョブの秘密性の設定は、当該プリンタとクライアントとの間に確立されるコネクション単位で設定される、ことを特徴とする請求項 9 に記載のプリンタの制御方法。

【請求項 17】

受信した印刷ジョブの印刷が終了した後においても、補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持しておくか否かを、個々の印刷ジョブによらずに包括的に設定する設定部に対して、この包括的な設定をネットワークを介してクライアントから設定し、

受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを判断し、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっ

ていると判断した場合には、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっていても、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持せず、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていないと判断した場合で、且つ、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合には、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する、

ステップをプリンタに実行させるためのプログラム。

【請求項 18】

受信した印刷ジョブの印刷が終了した後においても、補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持しておくか否かを、個々の印刷ジョブによらずに包括的に設定する設定部に対して、この包括的な設定をネットワークを介してクライアントから設定し、

受信した印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっているか否かを判断し、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていると判断した場合には、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっていても、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持せず、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていないと判断した場合で、且つ、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合には、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する、

ステップをプリンタに実行させるためのプログラムが記録された記録媒体。

【請求項 19】

複数のクライアントと、少なくとも1台のプリンタとが、ネットワークを介して接続される印刷システムであって、

前記クライアントは、秘密性を有する設定をして印刷ジョブを前記プリンタに前記ネットワークを介して送信する、送信部を備えており、

前記プリンタは、

受信した印刷ジョブの印刷が終了した後においても、補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持しておくか否かを、個々の印刷ジョブによらずに包括的に設定する設定部であって、この包括的な設定を前記ネットワークを介して前記クライアントから設定可能な設定部と、

受信した印刷ジョブが秘密性を有する設定になっているか否かを判断する、判断部と、

前記判断部で印刷ジョブが秘密性を有する設定になっていると判断した場合には、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっているとしても、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持せず、

前記判断部で印刷ジョブが秘密性を有する設定になっていないと判断した場合で、且つ、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合には、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する、

選択保持部と、

を備えることを特徴とする印刷システム。

【請求項20】

複数のクライアントと、少なくとも1台のプリンタとが、ネットワークを介して接続される印刷システムの制御方法であって、

前記クライアントから受信した印刷ジョブの印刷が終了した後においても、補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持しておくか否かを、個々の印刷ジョブによらずに包括的に設定する設定部に対して、この包括的な設

定を前記ネットワークを介して前記クライアントから設定し、

前記クライアントから、秘密性を有する設定をして印刷ジョブを前記プリンタに前記ネットワークを介して送信し、

前記プリンタの受信した印刷ジョブが秘密性を有する設定になっているか否かを判断し、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていると判断した場合には、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持せず、

前記判断ステップで印刷ジョブが何らかの秘密性を有する設定になっていないと判断した場合で、且つ、前記設定部の設定が印刷の終了した後においても前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する設定になっている場合には、前記補助記憶装置にその印刷ジョブを印刷ジョブデータとして保持する、

ステップを備えることを特徴とする印刷システムの制御方法。

09934678-082301